



石川労働局発表
令和元年12月2日(月)

【照会先】
石川労働局雇用環境・均等室
室長 大高 和久里
室長補佐 浜 明
(電話) 076-265-4429

報道関係者 各位

子育てサポート企業として
「北陸信用金庫」、「株式会社シーピーユー」を認定



石川労働局(局長 まつたけ やすお 松竹 泰男)では、このたび、下記企業を「**子育てサポート企業**」として認定いたしました。

北陸信用金庫 〔金沢市〕(2回目)

株式会社シーピーユー 〔金沢市〕(3回目)

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成したことなど一定の基準を満たした県内の事業主は、仕事と家庭の両立・子育て支援に取り組む企業として、石川労働局長の認定を受けることができます。

(県内の認定状況)

県内でくるみんの認定を受けた企業は、今回認定された2社を含め延べ53社(実数37社)、そのうち、より高い要件を満たした場合に認定されるプラチナくるみんを受けた企業は4社です。

【配付資料】

- 1 次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業の取組のご紹介
- 2 石川労働局管内の特例認定・認定企業一覧
- 3 厚生労働省の認定企業制度をご存知ですか

北陸信用金庫

◎ 事業所概要

企 業 名：北陸信用金庫
代表者氏名：理事長 石田 雅裕
所 在 地：金沢市玉川町 11 番 18 号
業 種：金融業
労働者数：166 人



◎ 行動計画

- 1 計画期間 平成 27 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日
- 2 内容
目標 ○計画期間中の女性の「育児休業」取得率は、引き続き 100%とする。
なお、実績を下回る場合でも最低 75%以上となることを目標とする。

○計画期間中に男性の「育児休業」または「子の看護休暇」取得者の実績があることを、引き続き目標とする。

○計画期間中に引き続き「育児休業」、「育児休業給付」、「産前産後休業」等の子育て支援制度の周知活動を行う。

◎ 認定取得に向けた取組状況

- ・ 育児休業中の職員に庫内報「ほくしんだより」と相談窓口への相談票を毎月郵送し、休業中も充実した情報交換ができる環境を整え、スムーズな職場復帰を支援した。その結果、計画期間中の女性の育児休業取得率は 100%（8 人／8 人）であった。
- ・ 庫内報「ほくしんだより」において、育児休業、育児休業給付金等の制度についての周知や、病児・病後児保育の施設紹介を行った。また、ワークライフバランスのコーナーにおいて、職員の子ども紹介や、仕事と育児の両立についてインタビューした内容を掲載し、組織全体に育児やワークライフバランスへの理解を促した。
- ・ 平成 27 年、28 年度は月 1 回以上のノー残業デーを年間で計 15 回実施。平成 29 年度からはプレミアムフライデー制度（毎月第一金曜にノー残業デーを行うこと）を導入し、ノー残業デー実施を含め、27 回実施。
- ・ 計画期間の前から導入しているリフレッシュ休暇（3 営業日連続で取得する年次有給休暇）において、全店舗の店長及び部長に対しリフレッシュ休暇計画表の作成を促し、計画的な取得を促した。

企業からのひとこと

- 行動計画に基づく取組にあたって工夫した点
 - ・ 育児に直接参加していない職員にも関心を持ってもらうことを意識しました。仕事と育児の両立支援に関するだけでなく、所定労働時間の削減や、年次有給休暇の取得促進などの働き方の見直しにも力を入れました。平成 29 年度からは、当金庫オリジナルのプレミアムフライデーとしてのノー残業デーを推奨し、従来からのノー残業デー実施を含め、年間で計 27 回のノー残業デーを実施しました。

- 行動計画に基づく取組の効果・課題
 - ・ 庫内報で定期的に周知することにより、「育児休業」や「子の看護休暇」について、制度の理解と普及の促進を図ることができました。第 2 回目のくるみん認定を受けたことを機会に、引き続き、仕事と家庭の両立に向けて、ワークライフバランスの推進に取り組んでいきたいと考えています。

- 育児関連休業を取得した男性社員の声
 - ・ 夫婦共働きのため、子どもが風邪をひいたときには自宅近くに住む妻の両親を頼ることが多いのですが、今回は子どもがインフルエンザにかかったため「子の看護休暇」を利用しました。妻の実家には子どもと同年代の姪もいるため、この制度のおかげで、自宅で子どもを看護することができたので、とても助かりました。
夫婦で協力して子育てする上でも、大変有効な制度であり、積極的に活用すべきだと思います。
(事務部、44 歳)

株式会社シーピーユー

◎ 事業所概要

企業名：株式会社シーピーユー

代表者氏名：代表取締役 宮川 昌江

所在地：金沢市西泉4丁目60番地

業種：ソフトウェアの開発・販売

労働者数：159人



◎ 行動計画

1 計画期間 平成29年3月26日～平成31年3月25日

2 内容

目標 ○産前産後休業、育児休業、育児休業給付金、育児休業中の社会保険料免除等の制度の周知や情報提供を行う。

○育児休業等を取得しやすい環境をつくるための措置をとる。

○所定外労働削減のための措置をとる。

○子の看護休暇の取得促進の措置をとる。

◎ 認定取得に向けた取組状況

- ・平成29年6月、全体集会勉強会にて男性の育児休業取得に関する事柄を中心に資料やパンフレットを配布。その後、定例執行役員会でも育児休業取得促進を促した。また、新入社員研修でも就業規則を使用し、制度の周知を行った。
- ・平成30年5月、「ハラスメントについて理解を深め、誰もが快適に過ごせる魅力的な職場を作ること」を目的とした社内勉強会を開催し、セクシュアルハラスメントや妊娠・出産等ハラスメントを防止するためのハンドブックを使用して講義や質疑応答、意見交換を行った。勉強会実施報告書を作成し、感想や意見交換の内容についての周知も行った。
- ・平成29年3月の定例執行役員会にてノー残業デーの拡充（月1回から2回）を決定。同年4月に社内ポータルサイトにおいて全従業員にノー残業デーを月2回実施することを周知し、同年5月から毎月ノー残業デーを実施。毎月の所定外労働時間を集計し、年度ごとに所定外労働時間が減少していることを確認。

- ・平成 29 年 4 月、定例執行役員会にて、子の看護休暇取得促進を各部へ要請し、部署ごとに朝礼等で周知。平成 30 年 4、10 月の定例執行役員会にて休暇取得に向けた取組状況や実績を報告し、今後の取組促進を確認した。子の看護休暇取得日数に関して管理簿を作成し、本人からの休暇取得状況の照会に随時対応することで、休暇の取得可能な日数等を把握しやすようにした。また、子の看護休暇は有給として、取得しやすくしている。

企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組にあたって工夫した点

・地道な取り組みを長期に渡って継続し、今回で 3 度目の認定取得となりました。これまでも同様ですが、子育て世代の従業員の環境拡充に集中するあまり、他の従業員にシワ寄せがいくことは避けたいと考えています。具体的には「所定外労働削減のための措置」も目標に入れることで、子育てとは関係のない従業員も含む職場環境の改善も目指しました。

すべての従業員が働きやすい職場づくりや仕事と家庭生活の両立支援に取り組むことが、組織の持続的な発展と次世代育成の貢献に繋がると考えています。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

・いずれの取組も効果を感じることができましたが、特に所定外労働の削減については、働き方改革関連法施行の影響から従業員の意識が自然に変化したことも手伝い、十分な効果を数値で実感しました（※）。

また、子の看護休暇について周知を図り、年次有給休暇と両方を取得することにより、年次有給休暇が本来の趣旨である心身のリフレッシュのために利用されるようになりました。まだ、取組の促進及び改善の余地がありますので、今後も継続的に推進していきます。

（※）所定外労働時間の変化

平成 29 年度：22.2 時間／月 → 平成 30 年度：18.8 時間／月

○ 育児関連休業を取得した男性社員の声

・子どもが保育園に通い始めると、思いもよらないような病を次々ともらってきますが、当社では子の看護休暇が有給扱いで取得できるので大変ありがたいです。上司が取得を促してくれることもあり、社内には取得しやすい雰囲気が出ています。配偶者も当社の制度と風土に感謝しており、私も育児に積極的に関わっていることを実感しています。

（開発職、43 歳）

石川労働局管内 特例認定・認定企業一覧

令和元年12月2日現在

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定・実施し、計画に定めた目標を達成したことなど一定の基準を満たす場合には、申請を行うことにより「子育てサポート企業」として石川労働局長の認定



【プラチナくるみん認定企業】

| 企業名 | 業種 | 所在地 | 認定年 |
|-----------------|-----------------------|------|-----|
| 医療法人社団 和楽仁 | 医療, 福祉 | 能美市 | H27 |
| 三谷産業 株式会社 | 商社(情報システム・空調設備・建設資材等) | 金沢市 | H28 |
| 株式会社 富士通北陸システムズ | ソフトウェア開発、システムエンジニアリング | 金沢市 | H28 |
| PFUテクノワイズ 株式会社 | コンピューター関係製造 | かほく市 | H29 |

【くるみん認定企業】 計 37社 (延べ53社)

| 企業名 | 業種 | 所在地 | 認定年 |
|-------------------------|-----------------------|---------|-----------------|
| 株式会社 富士通北陸システムズ | ソフトウェア開発、システムエンジニアリング | 金沢市 | H19 |
| 金沢信用金庫 | 金融業, 保険業 | 金沢市 | H19 |
| 株式会社 PFU | コンピューター開発・製造・保守 | かほく市 | H19・H23・H25 |
| 医療法人社団 中央会 | 医療, 福祉 | 金沢市 | H20 |
| 株式会社 国土開発センター | 建設総合コンサルタント業 | 金沢市 | H20・H23 |
| のと共栄信用金庫 | 金融業, 保険業 | 七尾市 | H21・H23 |
| 生活協同組合 コープいしかわ | 供給事業、共済事業、福祉事業 | 白山市 | H21・H24・H28・H31 |
| 株式会社 中央設計技術研究所 | 建設コンサルタント業 | 金沢市 | H22・H27 |
| 株式会社 大和 | 百貨店業 | 金沢市 | H22 |
| PFUテクニカルコミュニケーションズ 株式会社 | ソフトウェア開発事業、マニュアル制作事業 | かほく市 | H22・H27 |
| 国立大学法人 金沢大学 | 大学・研究施設等及び附属病院 | 金沢市 | H22・H27 |
| 三谷産業 株式会社 | 商社(情報システム・空調設備・建設資材等) | 金沢市 | H22・H25 |
| 鶴来信用金庫 | 金融業, 保険業 | 白山市 | H23・H31 |
| 株式会社 北國銀行 | 金融業, 保険業 | 金沢市 | H23 |
| 株式会社 ドコモCS北陸 | 情報通信業 | 金沢市 | H23 |
| 株式会社 ことぶき | 貸衣裳業 | 金沢市 | H24 |
| 医療法人社団 和楽仁 | 医療, 福祉 | 能美市 | H25 |
| PFUテクノワイズ 株式会社 | コンピューター関係製造 | かほく市 | H26 |
| 株式会社 システムサポート | コンピュータソフト開発データ、エントリー | 金沢市 | H26・H29 |
| 喜多ハウジング 株式会社 | 建築・リフォーム業 | 金沢市 | H26 |
| 株式会社シーピーユー | ソフトウェア開発・販売 | 金沢市 | H27・H29・R1 |
| 国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 | 大学・研究施設等 | 能美市 | H27 |
| 北陸信用金庫 | 金融業, 保険業 | 金沢市 | H27・R1 |
| 石川可鍛製鉄 株式会社 | 製造業 | かほく市 | H27 |
| ホンザキ北信越 株式会社 | 卸売、小売業 | 金沢市 | H28 |
| 株式会社 中セキ北陸 | 卸売、小売業 | 金沢市 | H28 |
| サンコー企画 株式会社 | 製造業 | 津幡町 | H29 |
| 株式会社 日本海コンサルタント | 建設コンサルタント業 | 金沢市 | H29 |
| 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ北陸 | 情報通信業 | 金沢市 | H29 |
| 一村産業株式会社 | 卸売業 | 金沢市 | H30 |
| 株式会社ディーシーコーポレーション | 清掃業 | 金沢市 | H30 |
| 株式会社ジェイ・エス・エス | 情報サービス業 | 金沢市 | H30 |
| 北陸通信ネットワーク株式会社 | 情報サービス業 | 金沢市 | H31 |
| 社会福祉法人つばさの会 | 社会福祉事業 | 鹿島郡中能登町 | R1 |
| コマニー株式会社 | 製造業 | 小松市 | R1 |
| 丸文通商株式会社 | 卸売業 | 金沢市 | R1 |
| 真柄建設株式会社 | 建設業 | 金沢市 | R1 |

厚生労働省の認定企業制度をご存知ですか

厚生労働省・石川労働局では、働きやすい職場づくりに実績を上げている企業を認定しています。

認定を受けると、以下の認定マークを表示することができ、働きやすい職場であること等企業のイメージアップにつながります。



○認定企業のメリット

- ①ハローワークの求人票に認定マークが掲載されます。
 - ②石川労働局主催の合同就職面接会で、認定企業を学生等求職者にPRします。
 - ③厚生労働省や石川労働局のホームページで、認定企業名を掲載します。
 - ④自社の商品・広告などに認定マークの使用が可能です。
- ※認定制度により、公共調達への加点、助成金の加算、低利融資などの優遇措置を受けられる場合があります。

◇ 認定企業になるための主な要件は、以下のとおりです。

えるぼし



概要

えるぼし認定とは、女性の活躍推進に関する取組が優良である企業を「女性活躍推進法」に基づき、厚生労働大臣が認定する制度です。

認定基準の一部

- ①管理職に占める女性労働者の割合が、別に定める産業ごとの平均値以上
- ②男女別の採用における競争倍率（応募者数／採用者数）が同程度
- ③女性労働者の平均勤続年数÷男性労働者の平均勤続年数が0.7以上

問合せ

石川労働局 雇用環境・均等室 電話 076-265-4429

くるみん



概要

くるみん認定とは、労働者の“仕事と子育ての両立”を図るために雇用環境整備に積極的に取り組み、その取組状況が優良な企業を「次世代育成支援対策推進法」に基づき、厚生労働大臣が認定する制度です。

認定基準の一部

- ①配偶者が出産した男性労働者のうち、
 - 1)育児休業等取得者の割合が、7%以上
 - 2)企業独自の育児目的休暇制度利用者の割合が15%以上であり、かつ育児休業等取得者が1名以上いる
- ②女性労働者の育児休業等取得率が75%以上

どちらか

問合せ

石川労働局 雇用環境・均等室 電話 076-265-4429

ユースエール



概要

ユースエール認定とは、若者の採用・育成に積極的に若者の雇用管理の状況などが優良な企業を「若者雇用促進法」に基づき、厚生労働大臣が認定する制度です。

認定基準の一部

- ①直近三事業年度の新卒者などの離職率が20%以下
- ②前事業年度の、
 - 1)正社員の月平均の所定外労働時間が20時間以下
 - 2)月平均の法定時間外労働60時間以上の正社員がいない

問合せ

石川労働局 職業安定課 電話 076-265-4427

安全衛生優良企業



概要

安全衛生優良企業とは、労働者の安全や健康を確保するための対策に積極的に取り組み、高い安全衛生水準を維持、改善している企業について、厚生労働大臣が認定する制度です。

認定基準の一部

- ①過去3年間労働安全衛生関連の重大な法違反がない
- ②労働者の健康保持増進対策、メンタルヘルス対策、過重労働防止対策、安全管理などの分野で積極的な取組を行っている

問合せ

石川労働局 健康安全課 電話 076-265-4424

<認定マークごとのメリット>

| | ①ハローワークで重点的PR | ②労働局主催の就職面接会においてPR | ③自社の商品、広告等に認定マークを使用 | ④日本政策金融公庫による低利融資 | ⑤公共調達における加点点評価 | ⑥若者の採用・育成関係助成金を加算 |
|-----------|---------------|--------------------|---------------------|------------------|----------------|-------------------|
| えるぼし、くるみん | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| ユースエール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 安全衛生優良企業 | ○ | ○ | ○ | — | — | — |

※詳細は、石川労働局ホームページで！

認定企業制度
えるぼし
くるみん 等